

学校だより

2月号

# 赤見っ子

赤見台第一小学校 令和8年1月30日(金)  
鴻巣市赤見台4-19-1 TEL 048-596-1688  
<https://akal-e-konosu.edumap.jp> FAX 048-597-0265

学校教育目標

(あ) 明るい心で 助け合う子  
(か) 体も心も たくましい子  
(み) 自ら学ぶ かしこい子

～テキパキにこにこ赤見っ子～



## 自主性を育て伸ばす！

校長 林 義典

寒さ厳しい日々が続きますが、2月3日は節分、翌日の4日は立春であり、暦の上では、春となります。本校では10月中旬から11月下旬にかけてインフルエンザが流行し、学級閉鎖の措置をとらざるをえない状況となりました。このときはインフルエンザのA型でしたが、ここにきてインフルエンザのB型に罹患する子どもが増え、今週3年生を学級閉鎖としました。現在、風邪やインフルエンザの予防のため「手洗い、うがい、喚起、室内の湿度の確保」に取り組んでいます。是非ご家庭でも「バランスのよい食事」「十分な睡眠」「発熱等が確認された場合、直ぐに医療機関で受診する」など、子ども達の健康にご配慮いただけますようお願い申し上げます。

さて、育て伸ばしたい資質・能力の一つに「自主性」があります。子ども達の自主性を育てたいと願い「子どもの意思を尊重しています」という考えを耳にすることがあります。この考えは一見もっともで否定することはできないように思われます。しかし、子どもの意思を尊重することの危うい面を私たち大人は理解しておかなければなりません。「自主性」と「我がまま、自分勝手」が違うことはご案内の通りです。その違いをどう見極め、子ども達の健全な成長へ繋げていけばよいのかは、大いに悩む課題です。「うちの子は、よい子」と言い聞かせ、大人の言うことを素直に聞きすぎる子は注意が必要だと言われています。大人の顔をうかがい、自分の意思を後回しにすることを繰り返すことで、徐々に「自主性」が損なわれていく要因にもなるからです。

学習面、生活面と本年度1年間のまとめの時期となりました。結果を急ぐと、指示や説明が多くなりがちになります。子ども達は、言われるからやっているだけ、所謂「やらされる感」が大きくなってしまいます。子どもですからはじめはやらされていても、やっているうちに面白くなり自分から進んでやり続ける場合もあると思います。授業はもちろんのこと、行事等への取組においても「自分で考える」

「自分から行動する」ことを引き続き奨励し、「自主性の芽」を育て、伸ばす指導を心がけていきたいと思っております。